

ひえだの
タウンタイムズ

穂田野町の人口

総数	2,335
男性	1,119
女性	1,216
世帯数	1,232
令和5年10月1日現在	

亀岡市との地域懇談会を開催

去る7月10日(月)、午前9時30分から11時30分まで、穂田野生涯学習センターに於いて「亀岡市との地域懇談会」を開催しました。

当日は桂川孝裕市長、石野茂副市長、佐々木京子副市長、神先宏彰教育長をはじめ、部長級の幹部が出席されました。自治会からは竹岡敏会長、美馬正信副会長、西村一郎副会長、竹岡博幸庶務会計及び美馬秀二委員・八木正純委員、各区長が出席し、大石慶明市議会議員と原野実生子市議会議員にも出席いただきました。

まず、自治会長が挨拶をし、自治会側の出席者を紹介しました。続いて、市長が挨拶をされた後、亀岡市側の出席者の紹介が行われました。

その後、自治会から提出した懇談案件に基づいて懇談に入りました。亀岡市からの回答は以下の通りです。

1.「穂田野町の活性化について」

(自治会)町の賑わいを生み出し、穂田野町の活性化に繋げるためには国道372号線を中心とした思い切った開発が必要であると考えるがどうか。

(亀岡市)穂田野町でも地元の意見がまとまれば開発は可能である。

2.「安全・安心の町づくりについて」

(自治会)太田鹿谷線を延伸して国道372号に接続したいがどうか。

(亀岡市)どこに延伸するかも含めて地権者の同意が取れれば実施は可能である。

3.「市道湯の花温泉線歩道設置事業の早期完了について」

(亀岡市)国の通学路安全対策で令和3年度から令和7年度にかけて十分な予算が確保できる見通しであるので、早期完了に向けて努力したい。用地買収の進ちよく率が地権者18件中30%ほどであるので地元も協力してほしい。

4.「穂田野小学校の老朽化対策について」

(亀岡市)穂田野小学校の大規模改修は令和10年度から3年間で行う計画である。令和5年10月に屋上屋根の雨漏り防止改修を行う予定である。

5.「市道の路面改修について(鹿谷区)」

(亀岡市)完了時期ははっきりできないが、今年度も路面改修工事を実施する。

6.「普通河川砂川の変色について(下佐伯区)」

(亀岡市)引き続き、調査し、指導する。

7.「願成寺川の改修について(太田区)」

(亀岡市)現地立ち合いのうえ、検討する。

8.「市道上佐伯線の拡幅について(上佐伯区)」

(亀岡市)どういう手法がとれるかを検討する。

9.「市道に面した側溝の修理について(鹿谷区)」

(亀岡市)水路の勾配が悪く、路肩も改修する必要がある、来年度予算で対応する。



稗田野町地区社会福祉協議会主催

「認知症サポーター養成講座」を開催

本年度は、7月18日(火)に、小学校6年生を対象にして認知症サポーター養成講座を行いました。

当日は亀岡市中部包括支援センター、亀岡市健康増進課の指導の下に開催され、6年生の子ども達は熱心にお話を聞き、「認知症ってなんだろう?」、「認知症になると起こること」等を学びました。



稗田野小学校周辺の草刈り作業

今年度も2学期が始まる前の8月20日(日)、PTAによる学校美化作業の日に合わせて、周辺の草刈りを行いました。

朝7時、自治会役員が集合し一斉に草刈りをしました。当日はPTAの皆さんや稗田野町老人クラブの皆さん達もグラウンドの草引き作業等に汗を流されました。

夏休みの間に伸びていた草がきれいに取り除かれ、2学期からの学習環境が整いました。

日曜日の朝早くから作業に参加していただいた役員の方々をはじめ、PTAや老人クラブの皆様には厚くお礼申し上げます。



令和5年度の敬老の集いを開催

9月18日(敬老の日)、4年ぶりに「稗田野町敬老会」を湯の花温泉「溪山閣」で開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大で過去3年間は開催できず、記念品をお配りするだけでしたが久しぶりの懇親の場となり、懐かしい方々との再会に話が弾みました。

当日は総勢130名程の方が参加いただき、会食をしながらカラオケで自慢の喉を披露したり、炭坑節を踊ったりして楽しいひと時を過ごしていただきました。欠席された方には「鶴屋吉信」の和菓子セツトをお届けしました。



第34回稗田野町民大運動会を開催

令和5年10月1日(日)、第34回稗田野町民大運動会を4年ぶりに開催しました。

未明までの雨が心配されましたが、雨も上がり、多くの選手や町民の皆様に参加いただき、盛大に開催する事ができました。多くの皆様の協力を得て、久しぶりに競技を通して爽やかな汗をかき、親睦交流を深め、楽しいひと時を共有して怪我無く、無事に終える事ができました。今回、ご参加いただきました皆様、大変ありがとうございました。



稗田野町戦没者追悼式を開催



令和5年10月15日(日)、英霊塔前の特設会場において、亀岡市遺族会会長石野善司様、亀岡市仏教会会長満林晃典様、亀岡市議会議員大石慶明様、原野実生子様、稗田野町遺族会会長西村克己様をはじめ、多数のご来賓のご臨席の下に、今年度の戦没者追悼式を執り行いました。

初めに先の三大戦で戦死された英霊に対して黙祷を捧げた後、自治会長が式辞を述べ、続いて桂川孝裕亀岡市長のメッセージを読み上げ、ご来賓を代表して石野善司様が追悼の辞を述べられました。稗田野町仏教会の読経が響く中、全員が焼香を行い、英霊に対して哀悼の意を表し、「二度と戦争を起こさせない」との決意を新たに、して厳粛の内に滞りなく、式典を終了させていただきました。

稗田野町第1回秋祭りを開催

令和5年10月29日(日)、第1回秋祭りを開催しました。これまでの「夏祭り」を見直して、内容を一新し開催しました。初めての開催でしたが、子ども達から大人まで多くの町民の皆様が参加していただき、盛況の内に終えることができました。町民の皆様、運営にかかわっていただいた実行委員の皆様、厚くお礼申し上げます。特設ステージでは、亀岡市吹奏楽団の演奏、佐伯灯籠人形浄瑠璃の人形新調お披露目上演、石山陽太郎さんのオペラ独唱、お話の会「たんぽぽ」さんの楽しいお話、井上愛さん・光村香澄さんのフルート演奏が行われました。

本館2階では民生委員さんによる防災コーナー、広場では子ども会・PTAによる子どもコーナー、農産物の直売、亀岡作業所さんの物品販売、キッチンカーによる販売、パトカー・白バイの触れ合い体験、トイレトレーニング公開、2号館では輪投げ大会、健康チエック・相談コーナーと盛り沢山の催しでした。亀岡警察署、亀岡市自治防災課及び健康増進課の方々に協力していただき、感謝しています。



各区・各種団体の行事

下佐伯区 おしゃべりサロン開店中

今年4月より、「下佐伯 おしゃべりサロン」を開きました。月1回の第2日曜日に佐伯公民館をお借りして開催しています。

毎月それぞれの季節、時期に合う内容を考えながら、お年寄りからお子さんまで楽しめるゲームをしたり、七夕、ハロウィンの飾りを作ってみたり、毎回15人から20人前後の方にご参加をいただいております。

何もないところから立ち上げたため、区の役員さんや下佐伯老人会、社会福祉協議会の協力を得て、日本赤十字の応援もいただき、何も知らない素人が知恵を出し合い「来てもらった人がまた来たくなる」そんなサロンを目指して頑張っています。

青少年育成協議会

10月22日に美化作業をしました。

町内一斉の美化作業で町内の皆さんに道路や側溝、水路などを見回り、ゴミを集めてもらいました。ゴミを入れるゴミ袋は毎回市が用意してくれたのが、今年から「各町の青少年育成協議会で準備してください。」ということになりました。確か青い袋に透明な袋、それと土嚢袋があったと思いますが、全然覚えていない。各々に必要数を聞いて配りました。皆さんの協力なしにはできない美化作業でした。



稗田野町民生委員・児童委員協議会

秋祭り民生コーナーを開催

「防災について考えてみよう」をテーマに京都府民生委員・児童委員協議会より補助を受けて初めて民生コーナーを開催しました。災害が起こった時、家の周りの危険な場所や避難をどうするのか等、各ご家庭で考えるきっかけにしたいだけでした。うか。

エコバックを100枚作成して持ち帰っていただきました。大変多くの方々のご来場をありがとうございます。

このコーナーを開催するにあたり、稗田野消防団の方々をはじめ、旧民生委員の方々・自治会・亀岡市自治防災課等々のご協力をいただき、お礼申し上げます。



稗田野町体育振興会

町民スポーツデーを開催

令和5年10月15日(日)19時より今年度第3回目の町民スポーツデー(ヨガ教室)が開催しました。インストラクターにアズミさんをお迎えし、親切丁寧に教えていただきました。1時間余り、心身ともにリフレッシュできる時間となりました。



亀岡市消防分団稗田野分団

令和5年度京都府総合防災訓練に参加しました。

9月3日(日)、晴天の中、令和5年度京都府総合防災訓練が保津川水辺公園で開催されました。『南丹地域で大きい断層(亀岡断層帯)による直下型地震並びに水害の複合災害』という想定の下に訓練が実施されました。訓練は京都府をはじめ、亀岡市や警察、消防、自衛隊、医療機関、各ボランティア団体など、約70機関、1000人以上が参加する大規模な内容でした。

亀岡市消防団では19分団が一斉放水を実施しました。また、並行して稗田野町自治会ではこれからの台風シーズンに備えて自主防災、町民の皆様とともに土のう作りを実施しました。



編集後記

タウンタイムス第31号を発刊するにあたり、寄稿いただきました皆様にお礼申し上げます。今年度は敬老会、町民大運動会、戦没者追悼式、そして秋祭りと順調に開催でき、町民の皆様の交流機会の充実とコミュニティ活動の増進に努めることができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

編集委員

編集委員長 竹岡 敏

編集委員 美馬正信、西村一郎、竹岡博幸

美馬秀二、八木正純

(コミュニティ推進員) 山内慎太郎、小澤弘明

